



**MARKING NOTES
REMARQUES POUR LA NOTATION
NOTAS PARA LA CORRECCIÓN**

May / mai / mayo 2012

JAPANESE / JAPONAIS / JAPONÉS A2

**Higher Level
Niveau Supérieur
Nivel Superior**

Paper / Épreuve / Prueba 1

*These marking notes are **confidential** and for the exclusive use of examiners in this examination session.*

*They are the property of the International Baccalaureate and must **not** be reproduced or distributed to any other person without the authorization of IB Cardiff.*

*Ces remarques pour la notation sont **confidentielles**. Leur usage est réservé exclusivement aux examinateurs participant à cette session.*

*Ces remarques sont la propriété de l'Organisation du Baccalauréat International. Toute reproduction ou distribution à de tierces personnes sans l'autorisation préalable d'IB Cardiff est **interdite**.*

*Estas notas para la corrección son **confidenciales** y para el uso exclusivo de los examinadores en esta convocatoria de exámenes.*

*Son propiedad del Bachillerato Internacional y **no** se pueden reproducir ni distribuir a ninguna otra persona sin la autorización previa de IB Cardiff.*

この「マーキングノート」は、問題のねらいと答案の出来のたまかな目安を示したもので、採点上の一応の参考にすぎません。採点時の一つのガイドラインではありますが、すべての答案の採点基準として厳守されるというものではありません。採点にあつたては、「ランゲージA2ガイド」の評価表が、評価の際の第一の基準であることに留意願います。ご自身が持つおおよその基準となじまないところがあつても、気になさらず、良い答案はここに書かれていないものでも高く評価し、レベルの低い答案はそれなりの評価をなさってください。

問題A

ねらい

受験生は、小説家が書いた評論の抜粋と、写真家のエッセイの抜粋の比較対照を求められている。二つのテキストに共通するテーマは都市と自然についてであるが、その視点は異なる。

標準以下の比較コメントリー

- 二つの文章に共通するテーマが自然についてであると述べている。テキスト1は東京の中の自然で、テキスト2は人間と自然のかかわりである。
- テキスト1は評論であり、テキスト2はエッセイであると述べている。
- それぞれの文章の表現技巧について多少述べている。例えば、テキスト1は詩的表現が使われているが、テキスト2は語るように書かれている。

標準より良い比較コメントリー

- 共通するテーマについてもっと詳細に記されている。例えば、テキスト1は東京という大都会の中で小説家である筆者が自然について気づき考えたことであるが、テキスト2は写真家が東京における日常生活と北海道やアラスカ自然について思ったことである。
- 二つの文章の構成について述べている。両方とも構成は明快だが、構成の仕方は異なっている。
- 表現技巧の工夫とその効果について、それがテキストにどのような意味を与えているのか解説している。

最も良い比較コメントリー

- 共通するテーマについての比較対照ができている。共に自然と東京という都会について書いているが、テーマの扱い方と視点は異なる。テキスト1において、筆者はモダンで人工的な都会の中にも自然を見つけて、自分にとって自然とは不思議な総体だと結論づけている。一方、テキスト2の筆者は、私たちが都会で生活している時に、北海道やアラスカでは悠久の自然と言える別の時間が流れていることを書いている。
- 構成について詳細に比較対照している。二つの文章は両方とも構成は明快だが、どのように構成の仕方は異なっているのか述べている。そして、それぞれの構成の工夫とその効果についても適切に分析している。
- それぞれのテキストにおける表現技巧について、その効果も含めて詳細に述べている。例えば、テキスト1では洗練された詩的な表現を用いながら客観的に語っているが、テキスト2では普通の言葉で情景を描いたり、アラスカに行った女友達の言葉を挿入したりしている。このような書き方をする筆者の意図と、それがどのような効果をあげているのかについて適切に分析している。

問題B

ねらい

受験生は、口語体で書かれた自由詩と、現代人気小説の抜粋の比較対照を求められている。二つのテキストに共通するテーマは手紙と直接言えないことである。

標準以下の比較コメントリー

- テキスト3は詩で、テキスト4は小説の抜粋であるとジャンルの違いを述べている。
- 両方とも題は「手紙」であり、テーマはコミュニケーションの手段としての手紙であると書いてある。
- テキスト3は3連で構成され、テキスト4は9段落構成であると述べている。
- 表現の特徴について述べている。例えば、テキスト3は句読点がなく書かれているが、テキスト4は話すように書かれている。

標準より良い比較コメントリー

- 共通するテーマについてもっと詳しく述べている。例えば、テキスト3は男女間で直接会って言えないことだが、テキスト4では兄弟が直接コミュニケーションをとりにくいことについて書いている。
- テキスト3は第一人称で書かれているが、テキスト4は第三人称で書かれている。
- それぞれのテキストの雰囲気や語調を作り出す表現の特徴について述べている。

最も良い比較コメントリー

- 二つのテキストのメッセージについて詳細に比較対照している。例えば、テキスト3で「私」は直接言えないことがある現実における手紙の必要性を認めているが、テキスト4では手紙は刑務所の中と外を結ぶものとしている。
 - 雰囲気や語調について適切に分析し比較している。テキスト3の口調は軽く一見分かりやすいが、意味していることは複雑で深い。一方、テキスト4は登場人物の動きや思いを細かく描いていて暗い。
 - それぞれのテキストにおける表現技巧とその効果について詳細に述べている。例えば、テキスト3で言葉の象徴するものについて分析して、「サバンナの鹿」は何か縛られることなく自由に生きることと表し、「地下街」や「噴水」や「ピザ」はサバンナに対比する人工的な都会の生活を表している。一方、テキスト4は地の文に短い会話を挿入しながら過去形の常体で書かれていて、詳細な描写で語りかけていて臨場感があふれる文章であるなど適切に分析している。
-